

# いのちの文化論

責任者 : 黒澤 勉 教授

担当講座(科) : 文学科

講義 21 時間

単位 1 単位

学 年

1 学年 後期

## 学習方針

### 基本理念 :

「いのち」とは何か。「生物が生きている限り持続している肉体や精神の統一的・根源的な働き  
の単一総称」・・・ある辞書では、このように定義している。「いのち」ある人間は精神活動とし  
て、その「いのち」を見つめ、それが生まれることを喜び、反対に、それが失われることを恐れ、  
悲しみ、不安に思う。それは多くの作品として結実している。人間の生命活動は時代や社会を反  
映する特定の価値観を含んだきわめて文化的な活動だと言える。表現され、生み出された作品は、  
「ヒト」ならぬ「人間」の「生老病死」を考えるヒントとなる。

### 一般目標 (GIO) :

医学や生物学など自然科学の側面から捉えた「生命」観がある。しかし、それとは別に、文学  
や宗教において、また個々人の体験を通して捉えられた「いのち」観がある。科学的な「生命」  
観と、そうした個人的・感性的・伝統的・人文的な「いのち」観との対話が、今、重要な課題と  
して求められている。本講義では、「いのち」観の種々相を素材として提供し、医療人としての総  
合的な価値観形成に寄与したい。

### 到達目標 (SBOs) :

1. 医療の担い手として豊かで、確かな「いのち」観形成に向けて努力する態度を身につける。
2. それぞれの作品の背後にある「いのち」観を理解すると共に、それについて自分の意見を持つ。
3. 現代の医療の問題や文明の問題とも関連づけながら作品を読み、医療人としての使命感を育てる。
4. 人文的・社会的な幅広い問題意識を持つ。
5. 読書の習慣を身につける。
6. 読解力・文章表現力を身につける。
7. 口頭での発表力、表現力を身につける。

## 講義日程

受講者を2グループに分け、クラス1は火曜日2時限目、クラス2は金曜日1時限目に授業を行う。

クラス	月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
1	10/ 7	火	2	文 学 科	黒澤 勉 教授	相田みつお『人間だもの』・日野原重明『生きる』を読む。(いのち観)
2	9/19	金	1			
1	10/21	火	2	"	"	中江兆民『一年有半』を読む。(病の告知)
2	10/10	金	1			
1	10/28	火	2	"	"	幸徳秋水『死生』を読む。(死刑)
2	10/17	金	1			
1	11/ 4	火	2	"	"	石川啄木『悲しき玩具』を読む。(病室に生きて)
2	10/24	金	1			
1	11/11	火	2	"	"	与謝野晶子『乱れ髪』・『産屋物語』を読む。(エロスといのち)
2	10/31	金	1			
1	11/18	火	2	"	"	斎藤茂吉『赤光』を読む。(母なるもの。エロスといのち)
2	11/ 7	金	1			
1	11/25	火	2	"	"	高村光太郎『智恵子抄』を読む。(愛といのち)
2	11/14	金	1			
1	12/ 2	火	2	"	"	北杜夫『夜と霧の隅で』を読む。(ナチス医学)
2	11/21	金	1			
1	12/ 9	火	2	"	"	『きけわだつみのこえ』を読む。(戦争における死)
2	11/28	金	1			
1	12/16	火	2	"	"	正岡子規『墨汁一滴』を読む。(癒し)。
2	12/ 5	金	1			
1	1/ 6	火	2	"	"	正岡子規『仰臥漫録』を読む。(食といのち)
2	12/12	金	1			
1	1/13	火	2	"	"	夏目漱石『思い出すことなど』を読む。(病の至福)
2	12/19	金	1			
1	1/20	火	2	"	"	芥川龍之介『河童』を読む。(いのちの始まり)
2	1/ 9	金	1			
1	1/27	火	2	"	"	梅原猛「クローン人間についてのパンセ」を読む。(科学と宗教・文学)
2	1/16	金	1			

**教科書（教）・参考文献（参）・推奨図書（推）**

	書名	著者名	発行所	発行年
教	いのちの文化論	黒澤 勉	医大文学研究室	2007
参	病者の文学 正岡子規	黒澤 勉	信山社	2003

**成績評価方法**

授業時に書いてもらう作文5割と試験5割を目処とする。

**オフィスアワー一覧**

授業を担当する専任教員氏名	方式	曜	時間帯	備考
文学科 黒澤 勉	A-i	月～金	12:00～17:00	